



# ばななぐみだより



令和6年3月26日

社会福祉法人まほろば湊こども園

暖かな日差しに春の訪れを感じるこの頃。園内に差し込むやわらかな陽射しが、今年度の残りわずかな時間をそっと包み込んでくれている気がします。「ぶどうぐみさん小学校に行くからお別れやねんな」と別れを寂しく思う気持ちや、「ぶどうぐみになったら、小さいお友だちに優しくする！」と進級への期待に胸を躍らせたりと、心も春の季節を待ちわびているようです。



お天気の良い日にみかんぐみのお友だちと公園に行きました。今までは手をつないでもらっていた子どもたちが、お兄さんお姉さんになって、優しく手をつないで、みかんぐみさんの歩幅に合わせて歩いている様子はとても微笑ましく、嬉しい成長の姿でした。これからも、異年齢の関わりを通して、思いやる心や優しい心を育ててほしいと思います。

**たのしい！ やってみたい！ をいっぱいできたね！**

ばななぐみになってから、子どもたちの「たのしいこと！」「やってみたいこと！」を大切にいろいろなことを工夫して体験できるようにしてきました。始めてすることの中には、やってみて難しさを感じたり、次はこうしよう！とみんなで発見することも多く、たくさんの経験を一緒にすることができました。大きな行事では、運動会で「怖いな」「できない」と言っていた跳び箱や鉄棒を毎日練習して、怖さを克服したり、少しずつできるようになる体験をすることができました。バルーンは「この曲がいい！」とみんなが大好きだった『わたしは最強』の曲に合わせて、一人ひとりの力が大切なこと、またその力が合わさることでいろいろな技が表現できました。また、発表会では子どもたちがアイデアを出し合って物語を作りました。話し合うことができるようになったことにこのころはとても驚き、子どもたちの成長に感動したことを思い出します。当日まで練習を楽しんで、やる気に満ち溢れていた子どもたちはとてもキラキラしていました。発表会が終わった頃から、お友だちとの関わりにも変化が見られ、まだまだぶつかりながらもお友だちの気持ちに気づいて「ごめんね」と自分から言えることも増えてきました。何事にも意欲的で楽しめるばななぐみの子どもたちの成長を近くで見ることができ、とても嬉しかったです。ぶどうぐみでは、さらにお友だちと力を合わせることや認め合えることを経験して行ってほしいと願っています。一年間沢山のご理解ご協力を頂きましてありがとうございました。ばななぐみのみんな大好きです！！